

叡智のフロンティア部会論点整理

2012年4月2日

叡智部会 苜部直

1 知識・文化の現状の問題点

- － 専門化・高齢化・若い人材の不遇・行政の硬直性・グローバル化への立ち後れ
- ＋ 基礎学力の高さ SNSを使いこなす若者 科学技術 アート・漫画・アニメ家などのデザイン力 引き算・沈黙の文化 自動化技術

2 知識と文化を担う人材

- ・ 流動性の促進～終身雇用制・同一職種同賃金の見直し 海外との人材交流
- ・ 変化と失敗に対する対応力
- ・ デジタル教育環境の整備→「教育特区」の可能性
- ・ 身体知の重要性～演劇教育・舞踊教育の重要性
- ・ 「つなぐ」才能の育成～異分野間の交流、行政と民間、中央と地方、日本文化と異文化、「編集する力」

3 知識・文化と、社会との関係

- ・ 多様性の保障～社会的包摂、教育保障
- ・ 速度と流動性の拡大＝情報通信技術の発展、
- ・ 集合知の形成枠組～情報公開、議論の可視化、情報のネット配信
- ・ ネットワーク基盤の整備
- ・ 学術情報を社会に伝える～論文の公開、知識のマッピング、地域社会での活用
科学コミュニケーション
- ・ キャリアパスの多様化
- ・ アジア地域との多国間協力

4 知識・文化と、市場との関係

- ・ 多様な知の結節点としての「家」
- ・ 独自の文化の海外への発信 アニメ・漫画・ゲーム、ファッション、デザイン
- ・ 世界に輸出できる標準を作る
- ・ 知的財産の活用のための規制解除
- ・ 地方の多様性＝地元の発意と創意を引き出す仕組み＋地域間の情報交流
- ・ 自然環境＋農地＋都市を組み合わせた、地域のデザイン

5 未来世代の希望にむけて

- ・ 「叡智」とは？＝ものごとを高めからとらえ直す／自己更新する「開かれた心」／
表現力・創造力・編集力／予想外のことに対処
- ・ 日本独自のモデル作り（課題先進国）、ルール形成への参与